

公益社団法人

JATET

劇場演出空間技術協会

芸術と技術の繋ぎ手として

2017

**Theatre
and
Entertainment
Technology
Association , Japan**

JATET 公益社団法人 劇場演出空間技術協会

舞台芸術の創造を支える プロフェッショナル集団

JATET（劇場演出空間技術協会）は、演出空間のあり方を芸術と技術を総括する新たな視点から捉え、成果を広く一般関係者にご活用いただく組織として1990（平成2）年に社団法人として創設されました。

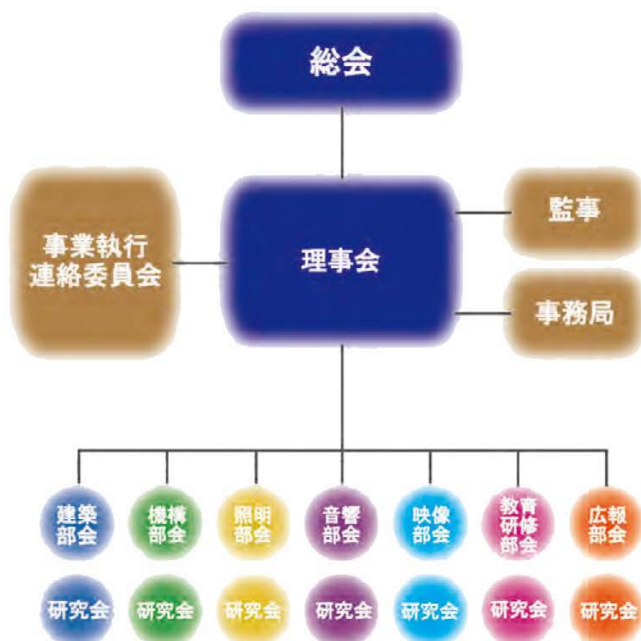
会員として、芸術、技術の分野から多彩な法人・個人が参加し、演出空間施設に関する調査研究、標準の検討作成、展示会、セミナー等の開催、内外の関連機関、団体との交流等の活動を行っています。

2010（平成22）年には、公益社団法人に移行、より社会に貢献する協会として生まれ変わりました。これを機に協会創設時の初心に立ち返り、劇場演出空間施設及びこれに関連する設備の安全確保と総合的技術の向上に一層努めています。

主な活動

- 劇場演出空間施設の安全確保と技術の向上に関する調査・研究
- 劇場演出空間施設の安全確保と技術の向上に関する標準の検討・作成・普及
- 劇場演出空間施設の安全確保と技術の向上に関する国内外交流の推進
- 機関誌、ジャーナル、ニュース等による情報発信と関連情報の収集
- 講演会、施設見学、各種展示会等の開催、人材育成等

■ 組織図



■ JATET フォーラム・技術展

最新の劇場演出空間のための技術の進歩や安全に関わる知識の普及と日頃の調査研究活動の発表のために、各専門分野におけるセミナーを中心とした「JATET フォーラム」、及びセミナーと展示を中心とした「JATET 劇場演出空間技術展」を定期的に開催しています。

■ 施設見学会・セミナーの開催

年に数回、新しい劇場・施設、あるいは改修された既存の劇場・施設の見学会を開催しております。毎回、多くの方々に参加していただいています。見学会は、興味のある方はどなたでも参加していただくことができます。また、プロフェッショナルな技術者を対象とした、各種技術セミナーを開催し、最新の劇場技術の紹介や検証を行い、技術と知識の普及を図っています。同時に一般の方々に向けて、協会と会員の活動を紹介する講演等への講師派遣も行っております。

2015 年度：

見学会 東京文化会館（東京都）
 サントミュージゼ（長野県上田市）（写真：1・4・5・6）
 三次市民ホールきりり（広島県三次市）（写真：表紙・3・7）
 新国立劇場オペラ劇場

セミナー 新国立劇場技術セミナー

「新周波数帯 特定ラジオマイク／イヤーマニター」

2016 年度：

見学会 南陽市文化会館（山形県南陽市）（写真：2）
 蓮田市総合文化会館ハストピア（埼玉県蓮田市）



活動紹介

劇場・舞台全般に広がる活動 舞台芸術の発展のために

■ 建築部会

建築部会は劇場設計者、劇場コンサルタント、劇場運営者、舞台監督、劇場研究者、そして、劇場建築に関心のある人と幅広い会員で構成されています。

建築部会の活動は、劇場・ホールの建築計画・設計、舞台技術に関する調査を行い、劇場・ホールの質的向上を目的としていますが、近年、特に東日本大震災以降の相次ぐ天災に際し、他部会との協力のもと、現地の被害調査を行うとともに、その後の改修という大きなテーマに取り組んでいます。これらの調査研究は社会的反響も大きく、今後とも継続し、蓄積された情報を外部に発信していく予定です。中でも客席天井の改修については、今後実施事例が増え、その対応方法も研究が進むことが予想されることから、多くの劇場に参考になる事例の紹介や、実施のプロセスや計画上的留意点等を提供していきたいと考えています。

また、昨今の舞台設備技術の変化や革新は目を見張るものがあります。例えば、劇場演出空間における仮設対応の増加、舞台技術分野における安全性への意識の高まりとその確保、舞台照明におけるLED光源やムービングライト、舞台音響におけるラインアレイ型スピーカ等の新しい音響設備やフルデジタルによる音声制御などがあげられます。これらに対応した劇場・ホールに関する研究を進めています。

■ 照明部会

照明部会は劇場演出空間の舞台照明設備全般の規格の制定、最新の技術や照明器具等の調査研究、安全確保と技術を向上させるための情報の提供を行っています。(舞台照明関連のJATET規格、劇場等演出空間電気設備指針改訂版(2014)(一般社団法人電気設備学会と共著)・・・等)

部会員は国内の照明器具メーカーの主に技術担当者、照明会社の技術担当者、劇場の管理者、照明コンサルタント、照明デザイナー等で構成されており、メーカーとユーザーが同じテーブルで規格に関する討議や、現場の技術に関する知識の共有を行っています。

近年照明設備は、ただの舞台照明設備に留まらず、演出空間用照明設備として、劇場の枠を超えた演出空間の技術へ変化しつつ、ワールドワイドな広がりで使用されています。それに対し調査研究に関しても国内の状況だけではなく海外の製品、設備の状況を含めた活動も行っています。

上記の活動を通して、劇場等演出空間施設及びこれに関連する設備・機器の安全確保と総合的な技術向上並びにその普及を図っています。



■ 機構部会

機構部会は、劇場演出空間の舞台機構設備全般の規格の制定や、最新の技術および関連法規等の調査研究を行い、舞台空間に設置される舞台機構設備の安全確保と技術の向上に努めております。

部会員は、舞台機構メーカーの技術者のみならず、劇場の管理・運用に携わる舞台技術者で構成されています。製品を提供する側と使う側が同じ場で活発な議論を交わすことで多くの意見を取り入れ、安全確保に必要な技術について知識を深めながら規格の制定や見直しを進めています。

劇場演出空間内には演出を目的とした様々な舞台機構設備が備わっています。機構部会から刊行されている規格では舞台機構装置の設計、施工、運用、維持、管理の各段階にわたって安全にかかわる基準を指針として示しています。(舞台機構関連のJATET規格：吊物機構安全指針、床機構安全指針等)

近年の舞台演出の進歩に伴い、以前のような手動方式の舞台機構から複雑にコンピュータ制御された高性能な舞台機構が広く導入されるようになりました。それらの新しい技術や設備の調査や関連法規の研究を行い、安全確保と技術向上を図っています。

■ 音響部会

近年劇場演出空間での舞台音響設備の変化は著しいものがあります。また全国の公共文化施設を始め多くの劇場演出空間施設が、高度成長期やそれ以前に建築されたものが多く、いずれも改築、改修時期を迎えています。現在、新技術の導入や改修、そして改築・新築の際、客観的な判断とその根拠の正当性が求められるようになってきました。劇場演出空間の設計施工、運営や上演作品に関わる設計者、技術者、デザイナーが音響部会という一つのテーブルで議論する公益社団法人「JATET」の役割はますます重要なものとなっています。

音響部会では劇場演出空間の舞台音響設備全般の規格の制定、最新の技術や音響機器等の調査研究、安全確保と技術を向上させるための情報の提供を行っています。(劇場等演出空間電気設備指針改訂版(2014)(一般社団法人電気設備学会と共著)、JATET規格「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法(JATET-S-6010:2016)」・・・等)

音響機器は海外製品も多く、音響部会には前記の部会参加者の中に輸入代理店の技術者も加わり、輸入機器も含めて我が国の環境に適合し、安全な運営のできる設備・機器を提供できるよう議論を重ね、総合的な技術向上並びにその普及を図っています。



■ 映像部会

演出空間における映像表現は、近年極めて重要になっています。これは、4K/8K の放送システムに対応する高解像度映像技術の開発に伴い、プロジェクターや LED ディスプレイシステムなどの高機能、高画質化が進み、また大型映像装置から廉価な小型機器まで映像機器のバリエーションが生まれ、映像演出の可能性が広がったことが背景にあります。一方で劇場において舞台映像システムは新しい分野で、その運用、人員配置、電源供給等のインフラ、持ち込み仮設映像機器への対応など、劇場側の整備が必要であり、指針が求められています。

映像部会の活動は、定例部会と研究会を開催し、映像技術の最新動向を共有するとともに、現場調査等によって現状把握を行うなど、多角的に取り組んでいます。これまでの成果として、JATET 規格「JATET-V-2020 自発光方式大型映像装置用語解説集」、「JATET-V-1010 仮設に於ける大型映像装置の安全運用指針」があり、これらの継続的な改訂を進め、更に近年の映像フォーマットの多様化に対応するための調査、研究が課題と考えています。

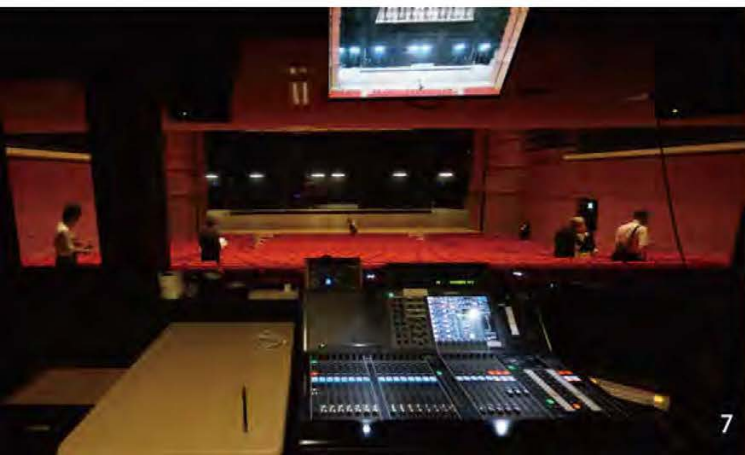
劇場演出空間での映像メディアの活用、安全な運用には他分野との連携が不可欠であり、各分野から映像部会への参画を期待しています。

■ 教育研修部会

新設、改修された劇場・施設の情報を収集し、施設見学会を企画・開催し、JATET ジャーナルを通して、幅広い方々に紹介しています。

■ 広報部会

JATET の活動を広く社会の方々に知っていただくための広報活動を行っております。



情報発信

劇場・舞台技術の情報を 最前線の現場から

■ JATET ジャーナル

劇場・ホールを中心に、演出空間施設に関する WEB マガジンです。どなたでも WEB 上で最新の施設や技術に関する情報を見ることができます。
<http://www.jatet.or.jp/journal/>

■ JATET ニュース

JATET が行っている劇場、ホール、イベント空間等の施設、設備、関連機器、関連技術に関する調査研究等の結果を掲載、会員や関係者と情報共有し、交流を深めるためのメールマガジンです。どなたでも登録頂いた方に毎月 1 回程度配信しています。
<http://www.jatet.or.jp/inquiry/>

■ JATET 誌

特集記事を中心に、より深く劇場・ホール、演出空間施設および空間演出技術に関する情報を得ることができる JATET の機関誌です。
<http://www.jatet.or.jp/bulletin/>

■ JATET 規格、指針等の発刊

JATET では、劇場演出空間の安全確保と技術向上のために、各部会を中心に幅広い研究活動を行っています。研究活動の結果は、各種指針、JATET 規格、出版物として頒布、あるいは WEB 上で公開しています。
<http://www.jatet.or.jp/publish/>

- ・吊物機構安全指針・同解説
- ・劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン
- ・劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法

他



■ JATET 入会のご案内

意欲ある新会員を歓迎致します 皆様の参加をお待ちしています

協会設立以後、建築・舞台機構・照明・音響・映像など“演出空間”にかかわる各設備において当協会の目的に基づく多くの安全基準の作成やそれに関連するフォーラム、セミナーを開催し、我が国の文化芸術の振興と科学技術の発展に寄与してまいりました。

当協会の趣旨に賛同される法人・個人、また舞台芸術関連事業に携わられる方で舞台環境の更なる向上と発展を望まれる方には、ぜひ当協会にご入会いただき、現会員と共に我が国の劇場演出空間の総合的な技術の向上を図り、より安全が確保された環境作りに寄与していただきたく存じます。

入会いただくと各部会への直接参加や、JATET が主催するフォーラム、セミナー、技術展、講演会、劇場見学会への優待参加、最新の劇場演出空間に関する技術情報の入手などの特典があります。

入会の方法等は下記アドレスにアクセスしてください。

<http://www.jatet.or.jp/admission.php>

■ お問い合わせ

101-0045

東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6

第一古川ビル 3F

TEL：03-5289-8858

FAX：03-3258-2400

E-mail：info2013@jatet.or.jp



- ・ JR 神田駅北口から大通りを秋葉原方面へ 150m
鰻店角を右折、50m右側
- ・ 地下鉄銀座線神田駅 5 番出口、脇の鰻店角左折、50m右側



<http://www.jatet.or.jp>

発行：公益社団法人劇場演出空間技術協会 広報部会